

【様式】

実践テーマ「児童や保護者と共有する「CAN-DOリスト」の活用」

和寒町立和寒小学校

第6学年〔单元名〕Unit4 Summer Vacations in the World

P

〔単元の目標〕

- ・夏休みの思い出について、訪れた場所やそこで食べたものについて伝えている。

D

〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	CAN-DOリストの共有	① A・B
②	ペアによるコミュニケーションを図る場面の設定	
③	ICT端末を活用した個別学習	

C

〔単元の目標の達成状況〕

- ・パフォーマンステストでは、約7割の児童が自分の伝えたい内容を相手に伝えることができた。
- ・手立てが必要な児童に対しては、個別に単語や発音を一緒に確認し、パフォーマンステストを実施した。

A

〔改善の方向性〕

- ・単元の導入時に共有したCAN-DOリストについて、児童がより具体的に単元のゴールの姿を想像できるよう単元の導入時にモデルを見せるとともに、児童が自分のタイミングでモデルを確認できるよう動画にし、端末に配付する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①CAN-DOリストの共有

〔児童（生徒）の活動〕	〔教師の指導〕	〔工夫点〕
○CAN-DOリストを確認し、ゴールイメージをもつ。	○児童がゴールイメージをもてるようCAN-DOリストを示し、丁寧に説明する。	○児童がいつでも見られるようロイロノートに配布する。
○手本となるモデルを見て、CAN-DOリストの内容についてより具体的なイメージをもつ。 ○自分のタイミングでモデル動画を視聴する。	○児童がより具体的なイメージをもてるようALTとJETで手本となるやり取りを見せる。 ○学級通信で単元目標や学習の様子を保護者と共有する。	○手本となるやり取りを動画に撮影し、ロイロノートに配付することで、児童が自分のタイミングで動画を視聴できるようにする。 ○学級通信にCAN-DOリストに基づいた単元目標や学習の様子を分かりやすく記載する。

① A

Unit 4 Summer Vacations in the World

CAN-DOリストを基に 作成した単元の評価規準

1. 単元の目標（できるようになってほしいこと）

- 世界の夏休みの過ごし方を知り、夏休みの思い出を伝え合おう。
 - “went to, ate, enjoyed”などを用いて、夏休みの思い出を紹介しましょう。
 - “It was ~.”を使って、「様子(nice, good など)」や「味(sweet, spicy など)」を伝えましょう。
 - 巻末コミュニケーションカードに、夏休みに訪れた場所を正しく書きましょう。
 - 教科書87ページの「わたしのセリフ」を完成させましょう。

2. 単元の最終目標

① 経験や過去の出来事、その様子を表現して先生方に夏休みの思い出を伝える。（話すこと・発表）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	知識:I went to ..., It was ... などの使い方を理解している。 技能:上記の表現を用いて、自己紹介を伝える技能を身に付けている。	自分の夏休みの思い出を先生方 に知ってもらうために、自分の行っ た場所や食べたものなどについ て、簡単な語句や文を用いて伝え ている。	自分の夏休みの思い出を先生方 に知ってもらうために、自分の行っ た場所や食べたものなどについ て、簡単な語句や文を用いて伝え ようとしている。
A	ほとんど誤りのない英文で話して いる。	夏休みの思い出について、訪れた 場所、そこで食べたもの、楽しんだ ことや様子などを交えながら、効果 的に伝えている。	間違いを恐れず、アイコンタクトや カードなどを用いながら、夏休みの 思い出を効果的に伝えようとして いる。
B	誤りが一部あるが、コミュニケーシ ョンに支障がない程度の英文で話 している。	夏休みの思い出について、訪れた 場所やそこで食べたものについて 伝えている。	間違いを恐れず、アイコンタクトや カードを時々用いながら、夏休みの 思い出を伝えようとしている。
C	誤りが多く、コミュニケーションに支 障をきたしている。	夏休みの思い出について、訪れた 場所を伝えている。	アイコンタクトやカードを用いずに、 夏休みの思い出を伝えようとして いる。

① B

CAN-DOリストを基に作成した単元の目標や学習の様子を学級通信で保護者と共有する。

生き生きと学びに向かっています！



全ての学習において、生き生きと学びに向かう姿が見られます。学習発表会が終わり、気が緩む時期もありますが、協力して考えを共有しながら楽しく学んでいます。ある子は、「今日時間の流れが早い！」「今週早い！」などと言っていて、それに共感する様子もあるため、みんなが充実した毎日過ごせていることが伝わってきます。左側の写真は7日（火）にあった和歌山教育研究会研究大会で行った算数での様子です。一人で粘り強く取り組む子もいれば、友達と協力して取り組む子、友達と交流してまた一人で取り組む子などアクティブに活動しています。発表のときには、自ら進んで前に出てくる姿があり、みんなも注目です。右側の写真は外国語での様子です。外国語では、コミュニケーションを大切に学習しています。日常の出来事に関連させ、「What did you eat?」のような簡単な質問をお互いにして合う場面を設けています。

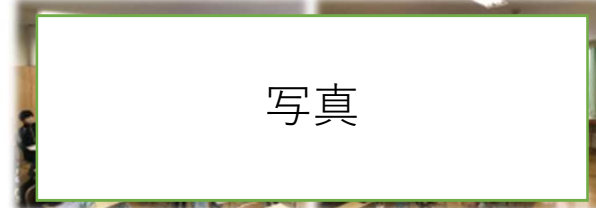
ちなみに・・・

Unit 5 We all live on the Earth.

- 単元の目標（できるようにしてほしいこと）
 - 地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを見せよう。
 - 「Where? / What?」を用いて、調べた生き物について質問しよう。
 - 「live, eat」を用いて、調べた生き物の生きているところや食べているものを伝えよう。
 - 「O O are」を用いて、調べた生き物の様子や状態（big, cute など）を伝えよう。
 - 食べ物コミュニケーションカードに、調べた生き物と食物連鎖の関係を正しく書きましょう。

外国語では、左記に記されているようなことを目標に取り組んでいます。外国語が得意な子も苦手な子も協力しながら取り組み、最後には自分の調べた生き物について全員が英語で話すことができ、目標を達成していました。

戻りつつある雰囲気



インフルエンザが猛威を振るい、欠席者が多かった日も続きましたが、来ている子どもたちは元気に過ごしていました。少しずつ人数が増え、「やっぱり、みんながいる教室がいいな」と改めて感じました。きっと子どもたちもそう感じていると思います。2学期の残りの登校日は28日となります。2学期もみんなで元気に支え合いながら学習に遊びに取り組んでいけるようサポートしていきます。

Unit6のゴールは？

Unit 6 Let's think about our food.



外国語 Unit 6では、左記の内容をゴールに取り組み始めました。最後には、オリジナル料理の使っている材料や味などをまとめて発表する予定です。是非、お家でも「What did you eat?」と聞いてみてください。

- 単元の目標（できるようにしてほしいこと）
 - 食材を通じて世界のつながりを感じ、オリジナルメニューを発表しよう。
 - 「Where? / How much? / What?」などの疑問に答えよう。
 - 「from」や数などを用いて、食材の産地や料理の産地、メニューの名前を正しく伝えよう。
 - 「a」の表現（数や様子、あいづちなど）を用いて、会話をくまらせてみよう。

漢字テスト実施します



9・10月の漢字まとめテストを実施します。範囲は「教えて！あなたのとっておき～『うれしさ』って何？～哲学対話をしよう」です。日程は12月4日（月）です。さあ、エンジン掛けていきましょう！

【個人懇談週間希望調査票とすとーりーについて】

迅速に日程調整して下さったご家庭の皆様、ありがとうございました。まだの方がいらっしゃるいましたら来週月曜日に希望票を「すとーりー」と一緒にご提出をお願いします。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②ペアによるコミュニケーションを図る場面の設定

〔児童（生徒）の活動〕	〔教師の指導〕	〔工夫点〕
○ゲームを通してやり取りをする。	○会話が上手にいかない場合、モデルを提示する。	○児童が興味・関心をもてるようゲームの中で扱うテーマを工夫する。 ○単元終末の言語活動につながるよう言語活動を位置付ける。
○様々な友達と交流する。	○上手にコミュニケーションを図っているペアを取り上げ、全体で共有する。 ○コミュニケーション活動を苦手とする児童が安心して取り組めるよう、適宜、教師が活動に加わる。	○いつも固定したメンバーではなく、様々な友達と交流できるような必然性のある活動を設定する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③ICT端末を活用した個別学習

〔児童（生徒）の活動〕	〔教師の指導〕	〔工夫点〕
○単語の意味を調べる。	○分からない単語があるときは、自分で調べるよう促す。 ○キーとなる単語を全体で確認する。	○自ら調べる習慣を身に付けさせ、解決に向かう姿を養う。
○デジタル教科書で発音を確認する。	○全体で発音練習をした後、各自で発音を確認できるよう練習の機会を設ける。	○各自で発音練習ができるよう一人一台端末を有効的に活用する。



デジタル教科書で分からない単語の発音を確認している様子